

ハンドバランシング (Hand Balancing)

演目紹介 | Hand Balancing (ハンドバランシング)

「一点に立つ」という、最も純粋な挑戦。

ハンドバランシングとは、手だけで全身を支える逆立ち芸術。

静止の中に、動的なエネルギーと極限の集中が凝縮されたこの演目では、身体のすべてを“1点”に集約する圧倒的なコントロール力が求められます。

写真のように、棒や椅子、高台など不安定な支点の上で行われるハンドバランスは、技術だけでなく「精神の安定」も問われる芸術。

観客の息を止めさせるような静寂と、バランスを取り戻す一瞬の動きに、**人間の限界を超えた集中美**が宿ります。

見どころ

- ミリ単位のバランス感覚とコアの制御力
- 棒（キャネスティック）や台座など多様な道具を使った構成
- 柔軟性・静止・連続技を織り交ぜた“流れる静止美”
- ソロからシンクロ・群舞構成まで、自在に展開

この演目は、観る人の呼吸さえ止まるような張り詰めた空気の中で、**“揺らぎながらも決して倒れない”**という、まさに生き方そのものを体現する芸術です。

